

「北陸地域 I C T 利活用普及推進セミナー」を開催



森田政務官 開催挨拶



基調講演 三友氏



パネルディスカッション

総務省・北陸総合通信局（局長：齊藤一雅）は、北陸情報通信協議会（会長：永原功 北陸経済連合会会長）及び I C T 奥能登「絆」づくり協議会（会長：泉谷満寿裕 珠洲市長）との共催により、「北陸地域 I C T 利活用普及推進セミナー」を 1 月 3 0 日に金沢市で開催し、約 2 0 0 名の参加がありました。

本セミナーは、北陸地域の I C T 利活用の一層の推進を図ることを目的として開催したもので、森田高総務大臣政務官の主催者挨拶の後、基調講演、事例紹介とパネルディスカッションが行われました。

基調講演では、早稲田大学大学院教授三友仁志氏から「地域における I C T の利活用と広域連携実現のための条件」と題したお話を、事例発表では、三重県玉城町生活福祉課長の林裕紀氏から「I C T を利活用した安心・元気な町づくり事業」と題したお話をいただきました。

パネルディスカッションでは、金沢星稜大学大学院教授大藪多可志氏をコーディネーターに、ご講演をいただいた三友教授、珠洲市長泉谷満寿裕氏、南砺市長田中幹夫氏、北陸情報通信協議会副会長倉知圓氏、北陸総合通信局長齊藤一雅がパネリストとして「奥能登をモデルとした I C T の利活用プロジェクトの推進」をテーマにディスカッションを行いました。

この奥能登をモデルとした I C T の利活用プロジェクトは、昨年の 1 0 月から産官学プロジェクトとして「I C T 奥能登「絆」づくり協議会」により具体化の検討が進められており、このディスカッションを契機に更なる取組の進展が期待されます。

本セミナーでは、北陸地域の I C T 企業など 1 1 社による機器展示も同時に実施しており、参加者は最新の I C T 機器の説明を熱心に聞き入っていました。

また、本セミナーは、N T T 西日本金沢支店様のご協力で、管内地方公共団体向けに Ustream を使ったネット中継を行いました。

問い合わせ先：情報通信部情報通信振興室 076-233-4430